

桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略(仮称)

案

桑 名 市

— 目 次 —

I	桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定について	1
1.	桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略とは	1
2.	桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略の前提となる社会背景	1
II	桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置付けとPDCA体制	1
1.	桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定と桑名市総合計画との関係	1
2.	PDCA体制の確立	2
III	基本的な視点	2
1.	「まち・ひと・しごと創生」政策5原則	2
2.	桑名市独自の視点	3
IV	今後の施策の方向	4
1.	戦略の方針	4
2.	戦略の基本目標	4
3.	戦略の基本的な方向、具体的な施策、重要業績評価指標（KPI）	7
	基本目標1 暮らす～ 桑名で わくドキ ワーク&ライフ	7
	（1）「暮らしやすいまち」を創生する	7
	（2）「住んでみたいまち」を創生する	10
	（3）「住み続けたいまち」を創生する	12
	（4）「働きやすいまち」を創生する	16
	基本目標2 インバウンド ～ 桑名で 体感 ビビッと(visit)ね ～	19
	（1）「魅了するまち」を創生する	19
	（2）「国際力豊かなまち」を創生する	22
V	桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略における政策を効果的に進めるために	23
VI	おわりに	23

I 桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定について

1. 桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略とは

「桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、桑名市が将来に向けて発展し、桑名で暮らすことに誇りを持ち、快適さを感じられるまちづくりを進めるとともに、少子高齢化、生産年齢人口の減少などの社会構造の変化において、その変化に対応し、活力ある桑名市であり続けるために、政策分野ごとの基本目標の達成に向けての基本的な方向性、具体的な施策をまとめたものです。

2. 桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略の前提となる社会背景

現在、日本では、人口減少、少子高齢化、経済構造の変化、人の繋がり希薄化、価値観の多様化など様々な問題を抱えており、地域社会においても大きく波及しており、従来の考え方や手法では解決できない問題が増えてきています。

桑名市においても、桑名市人口ビジョンでの現状分析においては、将来的に人口が減少し、高齢化が進んでいくことが認識できました。人口移動については、全体的に転入超過の状態が続いているものの、年齢階級別の人口移動を分析してみると、就学・就労の時期において転出超過の傾向が表れています。さらに「住みやすい」というベッドタウンとしての特徴である昼間・夜間の人口移動が大きく、特に平日の昼間には、滞在人口が減少することが確認でき、昼間の滞在人口を増やすための対策が必要であることが分かりました。

このように、桑名市独自の分析によって見えてきた課題について、桑名市独自の視点によって、実行性を持って取り組んでいくことが必要となります。

II 桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置付けとPDCA体制

1. 桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定と桑名市総合計画との関係

桑名市は、市の最上位の計画に位置付けられ、桑名市の中長期のまちづくりの方向性を示す計画として「桑名市総合計画」（計画期間：平成27年度～36年度）がスタートしたところであり、桑名市のすべての施策は桑名市総合計画に基づいて実施されています。この桑名市総合計画は、市民の意見や、未来を担う若者の視点を幅広く取り入れ、全員参加型で策定したものです。

このように市民の意見を反映して作成された桑名市総合計画がすでに存在することから、地方創生に資する施策や事業を抽出することでベースを作成し、国・県の総合戦略等を勘案しながら「桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

また、まち・ひと・しごと創生を効果的・効率的に計画し、広く意見が反映されるように、産業界・行政機関・教育機関・金融機関・労働団体・メディア（産官学金労言）等で構成される桑名市地方創生会議を立ち上げ、意見をいただきながら、桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定を進めました。

今後も、市内情勢や国・県の動向等を踏まえながら必要に応じて適宜、桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定を行い、本市の地方創生における施策・事業として位置づけ、運用していきます。

2. P D C A体制の確立

桑名市は今年度から、桑名市総合計画に基づき実施してきた各施策についての進捗管理を実施し、重要な施策の進捗管理については市民や外部有識者も交えた桑名市総合計画審議会（桑名市行政改革推進委員会委員を専門家として参加）で実施しています。これらの計画の進捗管理の結果及び、桑名市総合計画審議会委員の意見を踏まえた次年度の施策や予算案の策定を行っているところであり、適切なP D C Aサイクルを実施しているところです。

桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略に記載された事業等についても同様に、桑名市地方創生会議を中心にK P Iに基づく評価をすることで、市民や外部有識者の意見を反映させながらP D C Aサイクルを機能させ、桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略に記載された事業が適切に実行されるように進捗管理を行うと同時に、桑名市総合計画審議会の場で述べられた意見等も踏まえながら、柔軟に事業の追加・変更等の計画変更も実施していきます。

Ⅲ 基本的な視点

総合戦略の策定にあたっては、国の「まち・ひと・しごと創生」政策5原則を踏まえるとともに、桑名市独自の視点に基づくものとします。

1. 「まち・ひと・しごと創生」政策5原則

① 自立性

国：「各施策が一過性の対処療法的なものにとどまらず、構造的な問題に対処し、地方公共団体・民間事業者・個人等の自立につながるようなものであるようにする。」

桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略においても、桑名市の持っている強みと、抱えている弱みをしっかりと分析し、桑名市と桑名に関わるすべての人、企業、組織が持続的、自立的に発展していくための戦略の策定を進めました。

② 将来性

国：「地方が自主的かつ主体的に、夢を持って前向きに取り組むことを支援する施策に重点を置く。」

桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略においても、桑名市が自主的、主体的に策定を進めるだけでなく、住民代表をはじめ、産業界・行政機関・教育機関・金融機関・労働団体・メディア（産官学金労言）等で構成する桑名市地方創生会議を開催し、将来にわたって活力ある桑名市について取り組んでいく政策について意見交換し、地域一丸となって戦略策定を進めました。

③ 地域性

国：「国による画一的手法や「縦割り」的な支援ではなく、各地域の実態に合った施策を支援することとする。」

桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略においても、客観的データに基づく実情分析や将来予測を基礎としながら、桑名市の地域性を考慮し効果的な戦略策定を進めました。

④ 直接性

国：「限られた財源や時間の中で、最大限の成果を上げるため、ひとの移転・しごとの創出やまちづくりを直接的に支援する施策を集中的に実施する。」

桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略においても、まち・ひと・しごと創生に関する各分野に精通する関係団体等が参加する桑名市地方創生会議で、政策の効果をより高めるための意見交換をして戦略策定を進めました。

⑤ 結果重視

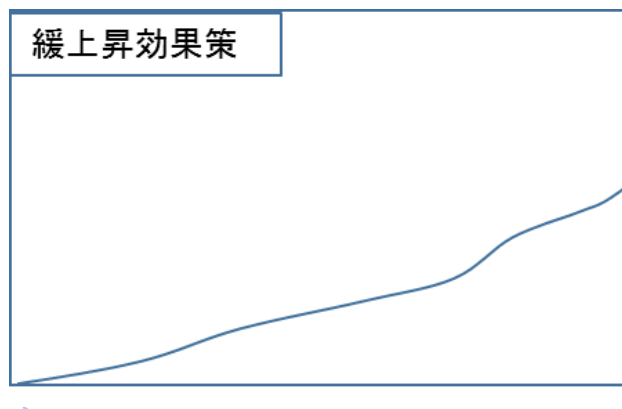
国：「効果検証の仕組みを伴わないバラマキ型の施策は採用せず、明確なPDCAメカニズムの下に、短期・中期の具体的な数値目標を設定し、政策効果を客観的な指標により検証し、必要な改善等を行う。」

桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略においても、中期の具体的な数値目標を設定しています。この目標値に対しての効果を客観的に検証し、取組内容の変更等の検討が行われる仕組みを戦略に盛り込みました。

2. 桑名市独自の視点

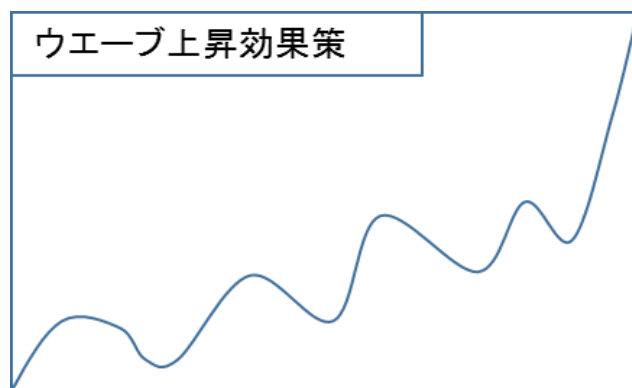
① 長期的に続けることで効果が緩やかに表れる政策（緩上昇効果策）

時間をかけ一步一步確実に政策を進めることで、効果が徐々に表れてくる政策を進めていきます。目標や方向性を、しっかりと軸として持ちながら政策を進めることで、長期的に緩やかに効果が表れる政策です。



② 短期施策の繰返しによる実績で効果が表れる政策（ウェーブ上昇効果策）

短期的施策の実績を繰り返し、積み重ねることによって、長期的に効果を見たときにも効果が表れ、向上する政策を進めていきます。



IV 今後の施策の方向

1. 戦略の方針

桑名市人口ビジョンで示された人口動向及び将来人口の推計結果から、桑名市においても将来的に人口が減少し、高齢化が進んでいくことが認識できました。

また、桑名市の人口移動については、全体的に転入超過の状態が続いているものの、年齢階級の人口移動を分析してみると、就学・就労の時期において転出超過の傾向が表れています。さらに「住みやすい」というベッドタウンとしての特徴である昼間・夜間の人口移動が大きく、特に平日の昼間には、滞在人口が減少することが確認でき、昼間の滞在人口を増やすための対策が必要であることが分かりました。

これらの結果を踏まえ、桑名市においては、子育て、学び、労働など日々の生活、活動をするうえで、心地よさ、快適さを向上させる「長期的に続けることで効果が緩やかに表れる政策」を推進して定住人口を増加させるとともに、桑名の魅力を発信し、桑名に来る人を魅了するなど「短期施策のくりかえしによる実績で効果が表れる施策」をあわせて推進することで、交流人口や海外を含めた来訪者を増加させる「まち・ひと・しごと創生」に取り組みます。

2. 戦略の基本目標

(1) 長期的に続けることで効果が緩やかに表れる政策（緩上昇効果策）

基本目標 1 暮らす ～ 桑名で わくドキ ワーク&ライフ ～

桑名市の「住み良さ」を分析し、日々の生活、活動、労働をしていくうえでの心地よさ、快適さを向上させ、だれからも「暮らしたいまち」として選ばれる桑名市にしていきます。

そのためには、現在持っている「本物」をさらに磨き上げ、より大きくし、より魅力のあるまちにしていきます。（＝桑名力の発揮）

数値目標

指 標	基準値 (H27) (平成27年3月31日現在)	目標値 (H31) (平成32年3月31日現在)
住民基本台帳登録人口 (外国人を含む。)	142,544人 (うち外国人数 2,943人)	143,000人 (うち外国人数 3,100人)

【戦略の基本的な方向と具体的な施策】

(1) 「暮らしやすいまち」を創生する

- ① 防災
- ② 消防・救急
- ③ 中心市街地
- ④ 都市デザイン
- ⑤ コミュニケーション活動

(2) 「住んでみたいまち」を創生する

① プロモーション活動

(3) 「住み続けたいまち」を創生する

- ① 地域医療・健康づくり
- ② 地域福祉
- ③ 子ども・子育て支援
- ④ 学校教育
- ⑤ 生涯学習

(4) 「働きやすいまち」を創生する

- ① 農林業
- ② 水産業
- ③ 商業
- ④ 工業

(2) 短期施策の繰返しによる実績で効果が表れる政策（ウェーブ上昇効果策）

基本目標2 インバウンド ～ 桑名で 体感 ビビッと(visit)ね ～

中部国際空港から近距離であること、また、高速道路、国道などが充実した交通の要衝である地理的優位性、さらに国内上位の観光客入込客数を誇るレジャー施設を最大限活用し、海外、国内から「訪れたいまち」として選ばれる桑名市にしていきます。

海外、国内から訪れた観光客が「桑名市で働きたい、住みたい」と思うようなまちにしていきます。

そのためには、現在持っている「本物」をさらに磨き上げ、より大きくし、より魅力のあるまちにしていきます。(＝桑名力の発揮)

数値目標

指 標	基準値 平成26年度現状	目標値(H31) (平成29年度現状)
観光客入込客数	1, 0 0 0 万人 (平成 25 年度現状)	1, 0 2 5 万人 (平成31年度現状)

<参考>

指 標	基準値(H26) (H26. 1月～H26. 12月末)	基準値(H31) (H30. 1月～H30. 12月末)
外国人宿泊者数	5, 5 7 1 人	6, 0 0 0 人

【戦略の基本的な方向と具体的な施策】

(1) 「魅了するまち」を創生する

「外国人の居住人口」は削除

① プロモーション活動（再掲）

② 文化・スポーツ

①と②入れ替え

③ 都市デザイン（再掲）

（２）「国際力豊かなまち」を創生する

① 国際理解教育

② 国内・国際交流

3. 戦略の基本的な方向、具体的な施策、重要業績評価指標（K P I）

基本目標1 暮らし～ 桑名で わくドキ ワーク&ライフ ～

（1）「暮らしやすいまち」を創生する

安全・安心な暮らしを守り、利便性や快適性の向上を図ることで、「暮らしやすいまち」を創生します。

桑名市の強みである高速道路、国道、鉄道など身近な交通網を最大限に活かし、交流人口の増加や移住につなげるなど、地域活性化を図る取組を進めます。

桑名市の玄関口である桑名駅を誰もが分かりやすく、利用しやすい駅にし、駅周辺地域と一体的な整備に取り組みます。

また、災害に強い地域づくりを進めるとともに、多様な年齢層に配慮した住宅の整備を進め、加えて、まちなみを地域資源として戦略的に活用し定住化につなげます。

★重点的な取組み

桑名駅周辺整備の促進

・桑名駅を中心に、駅西、駅東、新病院の整備を含めた桑名駅周辺の一体的な整備に取り組みます。

① 防災

めざす姿＝共に助け合える、防災意識の高いまちになっています。

重要業績評価指標（K P I）

指 標	基準値 平成26年度 現状	目標値 (H31)
自主防災組織数 地域防災力を向上させるため、「自分たちのまちは自分たちで守る」理念のもと、共助を担う自主防災組織の結成を促進します。	326 組織	350組織

●防災システムと防災施設などの整備

・大規模な災害に備えて、同報系防災行政無線のデジタル化などを全市に拡げることにより、情報伝達システムを構築します。また、防災拠点施設や避難所などの整備を進めて安全性を保ち、備蓄物資や資機材の整備に努めます。

●防災体制の強化

・海拔ゼロメートル地帯の避難対策に取り組みます。
・他の自治体や関係機関・民間企業などとの連携強化を進め、広域的な災害への対策強化に取り組みます。
・避難時に支援が必要な方について、地域レベルでの支援の仕組みづくりや災害予防対策の周知をおこないます。

●地域防災力の向上

・災害発生時に、市民が自らの安全確保や地域防災の初動対応がおこなえるよう、学校などでの防災教育や企画

展示などを通して防災意識を高めます。

- ・自主防災組織活動の支援や防災リーダーとなる人材の育成などを進めます。

② 消防・救急

めざす姿＝命や財産を守る備えが整い、安心して暮らしています。

重要業績評価指標（K P I）

指 標	基準値 平成26年度 現状	目標値 (H31)
救急車の現場到着平均時間 救命率の向上のため、救急車の適正利用を促進し、現場到着時間の更なる短縮をめざします。(参考) 平成24年中全国平均：8.3分	7.8分 (平成26年中)	7.6分 (平成31年中)
消防団員の定員充足率 地域の消防を担う消防団の強化のため、消防団に入団しやすい環境づくり、消防団員の確保に取り組みます。	88.4% (平成27.4.1現在)	90.0% (平成32.4.1現在)

●救急救命体制の強化

- ・救急救命士の育成を計画的に進めます。
- ・救急車の適正利用を呼びかけ、現場到着時間の短縮を進めます。

●消防団の強化

- ・消防団員の処遇の改善により、消防団に入団しやすい環境づくりを進めます。
- ・消防団員の活動を充実させるため、さらに教育訓練をおこないます。また、消防団施設や車両、安全装備品などの整備をおこないます。

③ 中心市街地

めざす姿＝暮らしやすくにぎわいある、コンパクトなまちになっています。

重要業績評価指標（K P I）

指 標	基準値 平成26年度現 状	目標値(H31)
桑名駅旅客乗車人員数 桑名駅西口駅前広場及び自由通路・橋上駅舎化により、交通結節点として機能強化することで、駅利用者である旅客乗車人員の増加を図ります。	6,165,942人 (平成25年度 実績)	6,500,000人 (平成30年度 実績)
六華苑利用者数 中心市街地のにぎわい創出のため、旧城下町における歴史的・文化的資源を活用した集客・交流機能の整備を進めます。	40,805人	48,000人

●都市交流拠点の整備

- ・桑名地区の玄関口である桑名駅周辺では、都市基盤や交通結節点としての整備を進めます。また、都市機能の再構築による持続可能な都市をめざします。

●にぎわいある中心市街地の整備

・歴史的、文化的資源を活用した集客・交流機能の整備などを進め、安心して誰もが暮らせ、訪れたくなるコンパクトシティをめざします。

●観光資源の魅力アップ

・多度、長島地区の歴史文化、自然、観光といった資源を整備、発掘し、それらを有効活用した新しい観光の魅力を創り出していきます。

④ 都市デザイン

めざす姿＝景観が美しく保たれ、みんなにやさしいまちができています。

重要業績評価指標（K P I）

指 標	基準値 平成26年度 現状	目標値 (H31)
三重県ユニバーサルデザイン条例による適合率 みんなに優しいまちづくりを進めるため、条例に基づくユニバーサルデザインの適合証交付件数を増やしていきます。	33.3%	60.0%

●魅力ある住環境の推進

・市内各所の特性に応じた景観保全、多様な年代層に配慮した快適で良好な住宅、住宅地などの整備を進めます。
また、違反広告物などの除去や啓発パトロールをおこない安全・安心を目的とした住環境の整備に取り組みます。
・景観計画に基づく景観重点地区や景観重要建築物・樹木の指定を検討します。

●みんなに優しいまちづくり

・歩行者空間をはじめ、公共施設などにユニバーサルデザインを取り入れ、人にやさしいまちづくりを進めます。

⑤ コミュニケーション活動

めざす姿＝まちの情報がいつでもわかり、自分の声が市政に届きます。

重要業績評価指標（K P I）

指 標	基準値 平成26年度 現状	目標値 (H31)
情報発信の媒体数 桑名市の情報発信力を向上させるため、発信対象を考えて、情報発信の媒体を多様化します。	6 媒体	7 媒体

●広報・広聴活動の充実

・広報紙による市政情報の発信に加え、ホームページなどを充実させ、情報の発信をおこないます。また、市民アンケートやパブリックコメント、ツイッターなどを活用し、市民と双方向の情報交換をおこない、市民の意見を市政に反映できるように努めます。

●情報の共有

・計画を考えたり事業を実施する際には、行政情報を積極的に公開し、市民への説明責任を果たすことで、市政の透明化をめざします。また、公開できる情報は、情報公開条例に基づく開示請求手続を経なくても入手できるような体制整備をおこないます。

(2)「住んでみたいまち」を創生する

桑名市にある地域資源・魅力（歴史、文化・スポーツ、まちなみ、農産物、水産物、特産品など）が情報発信され、日本・世界中の人に、それぞれの目的に合った場所として選ばれる「住んでみたいまち」を創生します。

地域資源（魅力）を掘り起し、磨き上げ、本物（桑名ブランド）として効果的に発信に取り組み、本市の認知度の向上とイメージアップを図り、交流人口、ひいては定住人口の増加につなげます。

市民が桑名の魅力に自信と誇りを持ち発信することで、市内外からの購買や定住、観光など幅広いニーズに応え、選ばれるまちとして定住人口の増加につなげます。

★重点的な取り組み

桑名ブランドの推進

- ・桑名にある地域資源や魅力について、世界を視野に入れた戦略的情報発信の取り組みを進めます。
- ・マスメディアやインターネット、SNS等、効果的な情報発信について、研究するとともに、積極的にシティプロモーションを行ないます。

① プロモーション活動

めざす姿＝まちの魅力が、桑名ブランドとして広く世間に知れ渡っています。

重要業績評価指標（KPI）

指 標	基準値 平成26年度 現状	目標値 (H31)
メディアでの露出度 桑名市のプロモーションをおこなうため、桑名市東京事務局を開設し、桑名ブランドを首都圏メディアに積極的に紹介、メディアでの露出件数の増加を図ります。	1,028 件	1,200件

●桑名ブランドの推進

・桑名には魅力ある歴史、文化などたくさんの資源があり、これらを全国にPRすることで、桑名を広く知ってもらい、桑名に対するイメージを高めます。

●桑名ブランドの推進（文化・スポーツ）

・桑名の歴史や文化、スポーツなど、桑名ブランドとしての取り組みを関係機関と進めます。

●桑名ブランドの推進（生涯学習）

・生涯学習を通じた学びにより、桑名に対する誇りと認識が深まるよう関係機関と取り組みを進めます。

●桑名ブランドの推進（農林業）

・なばな、トマト、タケノコ、ミカンなど地域が誇る農産物の産地の強化に努め、ブランド化を進めて、流通促進と消費拡大に取り組みます。

●桑名ブランドの推進（水産業）

- ・ハマグリ、海苔などの代表的な水産資源の魅力をさらに磨き、桑名のブランドとして誇れる取り組みを市民の皆さん、関係機関とともに進めます。

●桑名ブランドの推進（商業）

- ・桑名の魅力的な商品をさらに磨き、桑名ブランドとして市内外の人に知ってもらい取り組みを関係機関と進めます。

●桑名ブランドの推進（工業）

- ・鋳物などの桑名を代表する工業品をさらに磨き、桑名ブランドとして誇れる取り組みを関係機関と進めます。

●桑名ブランドの推進（都市デザイン）

- ・桑名のまちなみをはじめとする都市デザインを桑名ブランドとして誇れるよう、関係機関と取り組みを進めます。

(3)「住み続けたいまち」を創生する

子どもが安心して産み育てられ、様々な世代が交流し学ぶための環境が整った「住み続けたいまち」を創生します。

新病院を整備し、安心して子どもを産み育てるための環境を整えることで、将来にわたって安定した人口構造を維持していくために最も重要な子育て世代の移住を促し、少子化に歯止めをかけます。

また、様々な世代が交流し、学ぶための環境づくりを進めることで、定住化につなげます。

★重点的な取組み

新病院の整備促進

- ・安心して子を産み、育て、老後の生活を送ることができるように、新病院の整備に取り組めます。

① 地域医療・健康づくり

めざす姿＝医療体制が充実し、市民が健康づくりに取り組んでいます。

重要業績評価指標（K P I）

指 標	基準値 平成26年度 現状	目標値 (H31)
人口10万人あたり医師数 住み慣れた地域において、医療面で安心して生活を送る事ができる環境が求められています。医療環境の充実を計るひとつの指標として、人口10万人あたり医師数を増やします。	160.5人 (平成24年12月 末現在)	205.6人 (平成28年12月 末現在)

●地域医療体制の整備および充実

- ・適切な医療サービスが切れ目なく提供されるよう、医療機関の機能分化と連携、介護・福祉サービスなどとの連携を進めます。
- ・かかりつけ医をもつこと、コンビニ受診を控えるなどの啓発をおこないます。
- ・脆弱化している小児・周産期医療の充実に努めます。

●救急医療体制の整備および充実

- ・継続的で安定した救急医療を提供するため、関係機関との協力と連携のもとで桑名市応急診療所の運営をおこないます。
- ・高度・急性期医療における地域の中核病院となる、桑名市総合医療センターを支援します。
- ・災害発生など、緊急時の医療連携体制の充実に努めます。

② 地域福祉

めざす姿＝市民が支えあい、安心して暮らせる地域をつくっています。

重要業績評価指標（K P I）

指 標	基準値 平成26年度 現状	目標値 (H31)
ボランティアグループの登録数 多くの市民がボランティアに参加する機会を増やすため、ボランティアの育成と活動しやすい環境を整えます。	121団体	150団体

●地域を支える人づくり

・地域福祉を支える人づくりのために、ボランティアなど地域で福祉活動を担う幅広い人材育成を進めます。また、市民一人ひとりの福祉意識を高め、地域の課題解決に向けた行動を起こせるように「地域福祉」に関する市民同士の啓発活動を進めます。

●地域を見守る仕組みづくり

・地域の中には、支えを必要とする人がたくさんいます。こうした人たちを地域全体で支えるために、地域で活動する人や団体などのネットワークをつくり、地域の見守りなどを充実させて、問題解決ができる地域包括ケアなどの仕組みづくりを進めます。

●地域をつなげる場づくり

・ひとり暮らしの高齢者など何らかの支援を必要としている人が増加しているため、公共施設や身近な地域の施設を活用し、地域住民の交流を深めながら、地域ぐるみでまちづくりに取り組めるよう地域福祉の活動拠点づくりを進めます。

・福祉に関する身近な情報を提供したり、相談できる窓口の拠点づくりを進めます。

③ 子ども・子育て支援

めざす姿＝地域の支えで、子どもを3人育てられるまちになっています。

重要業績評価指標（K P I）

指 標	基準値 平成26年度 現状	目標値 (H31)
地域子育て支援センター就学前児童年間平均施設利用回数 子育て環境改善のため、就学前の児童および保護者を対象に、地域子育て支援センターの利用を促進します。	5.5回	5.5回

●子育て家庭への支援サービスの充実

・さまざまな保護者のニーズに対応した休日保育、延長保育、一時保育などの保育サービスを充実させ、地域子育て支援センターを中心に子育て家庭の育児の負担軽減や、子育てガイドブック、メールマガジンなどによる情報発信に努めます。

●子どもの安全な居場所づくりの推進

・公民館、公園、保育所（園）などで子育てサロンや、あおぞら出前保育などをおこない、気軽に利用できる地域の居場所の充実に努めます。

・小学校などの公共施設への放課後児童クラブの設置を推進し、子どもたちが安全に過ごすことができる居場所づくりを進めます。

●安心して子どもを産み育てられる環境の整備

- ・関係機関との連携を強め、児童虐待などの未然防止や早期対応、ひとり親家庭に対する支援などによる子育て環境の整備に努めます。

- ・子育て体験事業などを通して命の大切さを考える機会を提供し、次代の親の育成をおこないます。

●地域全体での子育て支援の推進

- ・相互援助活動をおこなうファミリーサポートセンター事業、子育て応援ボランティアの養成と活動支援、子育てサークル団体など地域の子育て事業への支援をおこないます。

④ 学校教育

めざす姿＝安心できる環境で、子どもたちの生きる力が育っています。

重要業績評価指標（KPI）

指 標	基準値 平成26年度 現状	目標値 (H31)
学習の定着度 確かな学力の定着と向上を図ります。そのため算数、数学の授業の内容が「よくわかる」「どちらかといえばわかる」と回答した割合を高めていきます。	76.8%	80.0%

●確かな学力の定着と向上

- ・少人数指導や特別支援教育体制の充実など、9年間を通した途切れのない小中一貫教育を進めるとともに、個に応じた指導、支援体制の実現をめざします。

- ・教員の指導力や資質の向上のために指導環境の整備を進めます。

●豊かな心の育成

- ・道徳教育や体験学習を充実させ、豊かな人間性と社会性の育成に努めます。

- ・いじめや不登校の解決のための支援体制、学校生活への不安に対する相談体制を充実させます。

●地域とともにある学校づくり

- ・学校、家庭、地域が連携し、地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりと、地域の実情を踏まえた特色ある学校づくりを進めます。

●教育環境の整備

- ・快適で安全安心な学校施設の整備を進めつつ、施設、設備の大規模改修や長寿命化の対策を、地域ニーズなどを踏まえて計画的に進め、子どもたちの育ちにとって望ましい環境につなげます。

⑤ 生涯学習

めざす姿＝誰もが自由に学べ、交流する場が生まれています。

「放課後子ども教室小学校区の設置数」は削除

重要業績評価指標（KPI）

指 標	基準値 平成26年度 現状	目標値 (H31)
くわな市民大学受講者数 学びの成果をまちづくりに活かすことを目的とする「くわな市民大学」の受講生を増やすことで、学びの地域還元をめざします。	3,424 人	3,450 人

●学習機会の提供・支援

- ・幅広い市民の要望に対応した学習機会の提供に力を入れ、市民の主体的な生涯学習活動を進めます。
- ・社会教育関係団体による自主的な学習活動の支援をおこない、生涯学習に関するさまざまな情報提供と相談体制の充実を図ります。

●生涯学習施設の適切な管理・運営

- ・誰もが安全で快適に使用できるよう、施設・備品の更新とバリアフリー化を計画的に進めます。
- ・地域の特性を活かした柔軟な公民館運営を検討します。

(4) 「働きやすいまち」を創生する

新技術開発・新製品開発の促進や製品のブランド化によって地域産業を活性化し、「働きやすいまち」を創生します。

新技術開発、競争力強化に取り組むことで、製造業をはじめとする地場産業を維持・発展させ継続的に雇用を創出します。

農林業、漁業を儲けられる産業として成立するよう取り組み、あわせて、後継者や担い手の育成に取り組みます。

製造業をはじめとする製品、加えて農産物、水産物について情報発信し、付加価値を高めるブランド化に取り組みます。

★重点的な取り組み

六次産業化の推進

- ・農林業と漁業を儲けることができる産業としての成立に取り組みます。
- ・次代の担い手の育成に取り組みます。

① 農林業

めざす姿＝桑名のおいしい農産物が全国で愛されています。

重要業績評価指標（K P I）

指 標	基準値 平成26年度 現状	目標値 (H31)
農産物直売所等での売上額 地産地消の推進、拡大を図り、市内農産物直売所などにおけるトマトやなばなをはじめとする地元野菜などの売上を拡大します。	290 百万円	310百万円

●桑名ブランドの推進

・なばな、トマト、タケノコ、ミカンなど地域が誇る農産物の産地の強化に努め、ブランド化を進めて、流通促進と消費拡大に取り組みます。

●農業経営基盤の強化および整備

・担い手への農地利用の集積、集約化を図ります。また、優良農地の適切な管理を進め、農地の有効利用を促進します。

・農業用施設の適切な維持管理によって生産コストを下げ、売れる米づくりなど付加価値の高い農産物の生産などを促進することで、農業経営の安定化を図ります。

・農業後継者の育成に努めます。

●地産地消の推進および拡充

・学校給食に地元産の米を積極的に使用し、また、旬の地元食材を使用した献立づくりを進めます。地域の食文化や産業、自然の恩恵に対する理解を広め、また、旬の地元農産物を供給するための仕組みづくりを進めます。

・世代を超えて食べ継がれてきた郷土料理に接する機会を拡げ、地域の食文化やふるさとの味などの継承を進めます。

② 水産業

めざす姿＝後世に引き継がれる漁業で、地域水産物を豊かに提供しています。

重要業績評価指標（K P I）

指 標	基準値 平成26年度 現状	目標値 (H31)
貝の漁獲高 水産業の振興、特に、ハマグリ、シジミなどの貝類の漁獲拡大と資源保護の両立を図ります。	912トン	1,200トン
漁業交流者数 漁業交流センター（はまぐりプラザ）を活用するなど、水産業を活かした交流、地産地消の推進・拡充を図ります。	45,976人	46,000人

●桑名ブランドの推進

・ハマグリ、海苔などの代表的な水産資源の魅力をさらに磨き、桑名のブランドとして誇れる取り組みを市民の皆さん、関係機関とともに進めます。

●漁業経営基盤の強化および整備

・漁協・漁業経営の体質強化、漁協研究会などの団体活動の支援や漁業施設の近代化の支援などにより、経営基盤の強化と整備をおこないます。

●交流・地産地消の推進および拡充

・漁業まつりなどのイベント開催の支援や漁業関連の体験型事業を進め、市民との交流や漁業・漁村への理解、地元の水産物をもっと消費してもらうようにします。

③ 商業

めざす姿＝魅力あるお店と買い物をする人で、まちににぎわいがあふれています。

重要業績評価指標（K P I）

指 標	基準値 平成26年度 現状	目標値 (H31)
創業支援事業参加者数 事業所数の増加、商店街の活性化を目的に、商工会議所などが開催する創業塾や相談会、セミナーなどの支援をおこないます。	337人	500人

●桑名ブランドの推進

・桑名の魅力的な商品をさらに磨き、桑名ブランドとして市内外の人に知ってもらう取り組みを関係機関と進めます。

●商店街の活性化

・商工会議所など関係機関との連携によって、回遊性のある商業空間づくりを進めます。また、引き続き空き店舗などを活用した専門性や特色のある個店づくりと、創業者や後継者の育成に努めます。

・地域の商店街の集客力を高める取り組みを支援します。

●商業経営環境の整備

- ・小規模事業者の設備資金と運転資金の安定的な調達や、商店街などがおこなう近代化・高度化・活性化のための事業を支援します。
- ・インターネットを活用したPRや、受注などをはじめとする経営ノウハウなどの育成支援を関係機関と連携して取り組みます。商店街の活性化

④ 工業

めざす姿＝地域に根ざした工場が活気にあふれています。

重要業績評価指標（KPI）

指 標	基準値 平成26年度 現状	目標値(H31)
製造品出荷額 中小製造業の振興と競争力向上を図るため、支援をおこなっていきます。	45,114,461 万円 (平成25年実績)	47,370,184 万円 (平成30年実績)
桑名市企業誘致促進条例適用事業所数（奨励措置件数累計） 地域経済の振興、雇用の場の拡大のため、企業誘致を推進します。	18 件	20 件

●桑名ブランドの推進

- ・鋳物などの桑名を代表する工業品をさらに磨き、桑名ブランドとして誇れる取り組みを関係機関と進めます。

●中小企業の振興と競争力向上

- ・地場産業をはじめとする幅広い分野の新技术・新製品開発に対する支援をおこないます。また、関係機関と協力して産学官の連携や異業種交流を進めていきます。

●企業誘致の推進

- ・多度地区企業用地への誘致活動を関係機関とともに取り組むほか、高速道路インターチェンジ付近の開発を促進し、新しい産業拠点づくりに力を入れます。また、「企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律(略称・企業立地促進法)」を活用した、個性のある地域の産業集積の形成と活性化について、県や近隣市町と連携して広域で取り組みます。

基本目標2 インバウンド ～ 桑名で 体感 ビビッと(visit)ね ～

(1)「魅了するまち」を創生する

印象的で魅力あふれる歴史、文化・芸術、スポーツによって、住む人、来る人が感動する場面にあふれた「魅了するまち」を創生します。

桑名の歴史、文化、芸術を、観光資源、地域資源として捉え、観光の産業化に取り組むとともに、観光の産業化の拠点となるホテル等の誘致に取り組みます。

六華苑及び諸戸氏庭園とその周辺は本市の誇る歴史景観地区が形成されています。新たに隣接では国営木曽三川公園桑名七里の渡し地区が開園することから、大型車両を含む駐車場不足が懸念されます。このことから、歴史景観地区にふさわしい利便性の高い一体的な維持管理とアクセス環境の整備を促進します。

また、桑名フィルムコミッションなど、地域の特色に応じた取り組みを展開することで交流人口の増加、ひいては移住につなげるなど、地域活性化に取り組みます。

2020年東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致を推進し、国内外からの誘客に取り組みます。

★重点的な取組み

観光の産業化の推進

- ・桑名市が持つ自然・歴史・文化・芸術を観光資源と捉え、観光の産業化を推進します。
- ・全国有数のレジャー施設とともに魅了するまちづくりを推進します。

① プロモーション活動 (再掲)

めざす姿＝まちの魅力が、桑名ブランドとして広く世間に知れ渡っています。

重要業績評価指標 (KPI)

指 標	基準値 平成26年度 現状	目標値 (H31)
観光入込客数 桑名ブランドを首都圏メディアに積極的に紹介し、露出を図ることで、観光客の増加を図ります。	1,000 万人 (平成 25 年 度現状)	1,025 万人 (平成30年 度現状)
メディアでの露出度 桑名市のプロモーションをおこなうため、桑名市東京事務局を開設し、桑名ブランドを首都圏メディアに積極的に紹介、メディアでの露出件数の増加を図ります。	1,028 件	1,200件

●桑名ブランドの推進

・桑名には魅力ある歴史、文化などたくさんの資源があり、これらを全国にPRすることで、桑名を広く知ってもらい、桑名に対するイメージを高めます。

●観光事業の魅力向上

・観光資源のさらなる魅力アップと情報の発信によって、外国人観光客も含めた誘客を進めます。

●広域連携の拡充

・広い範囲の観光客の誘致を北伊勢広域観光推進協議会や西美濃・北伊勢観光サミットなどと協働でおこなうことで、他地域との交流を広げていく取り組みを進めます。

①と②の項目及び内容を入れ替え

② 文化・スポーツ

めざす姿＝芸術や歴史・スポーツに親しむ人が増えています。

重要業績評価指標（K P I）

指 標	基準値 平成26年度 現状	目標値 (H31)
指定文化財数 文化財の保護・活用を進めます。成果の一つとして、国・県・市指定文化財と国登録文化財の増加を図ります。	165 件	170件

●桑名ブランドの推進

・桑名の歴史や文化、スポーツなど、桑名ブランドとしての取り組みを関係機関と進めます。

●文化芸術活動の推進

・市民展や博物館の展示など、市民が芸術や文化に親しむ場を充実させ、市民の文化向上の支援に努めます。

●文化財の保護・活用

・六華苑など、貴重な市民の財産である文化財を保護・活用し、桑名の魅力として公開していきます。

●スポーツ活動の支援

・体力測定や初心者教室などを開催し、市民の健康への関心を高めます。

・既存の施設案内やイベントを積極的に公開し、また、スポーツを始めたい方に情報を提供します。

●競技スポーツの振興

・スポーツ選手との交流の場を充実させ、競技スポーツへの動機づくりに努めます。

③都市デザイン（再掲）

めざす姿＝景観が美しく保たれ、みんなにやさしいまちができています。

重要業績評価指標（K P I）

指 標	基準値 平成26年度 現状	目標値 (H31)
三重県ユニバーサルデザイン条例による適合率 みんなに優しいまちづくりを進めるため、条例に基づくユニバーサルデザインの適合証交付件数を増やしていきます。	33.3%	60.0%

●桑名ブランドの推進

・桑名のまちなみをはじめとする都市デザインを桑名ブランドとして誇れるよう、関係機関と取り組みを進めます。

●緑地、緑化の保全整備

- ・都市のうるおいや防災の機能を含めた貴重な資源として、公園・緑地の整備を推進し、市内に残された緑の保全に努めます。
- ・養老山地の豊かな自然環境を守るために市民協働による、保全・整備をおこないます。

(2)「国際力豊かなまち」を創生する

国際化に対応した人・環境が整い、世界中の人が集うことができる「国際力豊かなまち」を創生します。

国際社会への興味・関心及び異文化理解を深めながら国際感覚を持ったグローバルな人材育成を図るとともに、国際化に対応した受け入れ環境を整えます。

海外を含めた桑名への来訪者と滞在時間の増加を図るとともに、それによってもたらされる経済波及効果が地域に及ぶよう、桑名が一体となって戦略的な取り組みを進めます。

東京オリンピック・パラリンピック、伊勢志摩サミットをインバウンド施策の契機と捉え誘客に取り組みます。

★重点的な取組み

国際イベントの活用促進

・2016年伊勢志摩サミット及び2020年東京オリンピック・パラリンピックを絶好の機会と捉え、誘致活動など積極的に取り組み、桑名市への誘客を促進します。

① 国際理解教育

めざす姿＝お互いの文化や考え方を理解した子どもたちが交流しています。

重要業績評価指標（KPI）

指 標	基準値 平成26年度 現状	目標値 (H31)
小学校英語活動における児童の意欲向上 世界とのコミュニケーション力を高めるため、英語教育の推進をおこないます。そのため、「日ごろから生活の中で、英語を使おうとしている」と回答する児童の割合を高めていきます。	57.2%	65.0%

●国際理解教育の推進

- ・桑名市の自然や産業、歴史や文化に関わる学習や体験を深め、郷土に愛着や誇りをもち、発信していく態度を育てます。
- ・異なる文化・習慣を理解する学習や交流、体験活動などの国際交流を進め、相互理解と友好の機会を充実させます。

●英語教育の推進

- ・外国の人や英語にふれる機会を充実させます。また、小中学校が連携して、子どもたちのコミュニケーション力を豊かなものにします。

●外国人児童・生徒の学校生活支援の充実

- ・外国につながるのある子どもたちが楽しく学校生活を送れるよう、初期適応指導や日本語指導などの支援を充実させます。また、日本語指導と教科指導を結びつけたわかりやすい授業づくりを進めます。

② 国内・国際交流

めざす姿＝まちの魅力が広く発信され、交流の輪が広がっています。

重要業績評価指標（K P I）

指 標	基準値 平成26年度 現状	目標値 (H31)
活動団体の登録数 外国や多文化に感心を持ち理解を示す市民が増加するよう、外国人と共生し文化の交流などを深められる場の拡大を図ります。	6 団体	9 団体

●国内地域間交流の推進

・友好都市をはじめとするさまざまな地域との交流を深めるため、歴史・文化などの交流活動を進めます。また、地域のもつ資源や固有の文化などの価値を高めるため、これまでの枠組みにとらわれない新たな地域間交流について検討を進めます。

●多文化共生の推進

・外国人住民に対し、多言語ややさしい日本語表記による情報提供、ボランティア団体を中心とした日本語教室などを開催し、異なる文化を持つ人たちが快適に暮らせる環境づくりを進めます。

●国際化の推進

・国際感覚を身につけるため、海外の都市と友好都市提携をおこない、持続性のある多彩な交流を進めます。
 ・海外都市との交流がお互いに身近に感じられる交流になるよう、I C T技術を使った国際交流学習など、さまざまな交流方法について検討します。

●海外に向けた情報発信

・S N Sなどを使い、桑名市のさまざまな魅力ある資源を海外に発信し、観光などによる交流人口を増やします。

V 桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略における政策を効果的に進めるために

以上のように、少子高齢化、生産年齢人口の減少などの社会構造の変化に対応するため、「暮らす」と「インバウンド」を目標とし、政策や施策を進めていきます。

また、それらの取り組みをより効果的に進めるため、さまざまな連携や相乗効果についても考える必要があります。戦略における「暮らす」における「長期的に続けることで効果が緩やかに表れる政策」と「インバウンド」における「短期施策のくりかえしによる実績で効果が表れる施策」については、別々の施策のようではありますが、「暮らす」の施策は、子育て、学び、労働など日々の生活、活動をするうえでの、心地よさ、快適さを向上させることで、訪れたいまちとして「インバウンド」の施策へとつながっていきます。また、「インバウンド」の施策は、まずは、桑名市外からの誘客、交流人口に対する施策として捉えますが、将来的には地域の仕事を創造し、ひいては、外国人を含めた桑名市における「暮らす」の施策へとつながっていきます。

このように、各政策間における施策の連携や、ソフト事業とハード事業の連携、各分野における民間企業との連携、自然・歴史・文化・立地（交通の便）等地域資源についての融合による相乗効果など、より効果的な方法を常に検討し取り組みを進めていきます。

VI おわりに

「桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、客観的かつ桑名市独自の分析によって、人口の減少に歯止めをかけ、本市における地方創生を実現するための課題を把握し、それに対処するための目標、政策等を示したものです。

本市の人口は、名古屋に近く住宅都市として転入者に支えられているものの、将来に向けては減少の傾向にあります。即効性施策の無い人口問題においては「待ったなし」の状況であるといえます。

このような状況を含め、本市の課題とそれに対する目標、政策を「桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定を契機とし、本市だけでなく、産業界・行政機関・教育機関・金融機関・労働団体・メディア等さまざまな主体が、共有することができました。これからも、お互いに連携し、知恵を絞り、経験を活かして、この戦略を実施していかなければなりません。また、桑名の創生を実現し、活力ある桑名市であり続けるために、時代の変化等に応じて目標や政策等の見直しについても不断に行っていきます。